

発行所 大洲市役所
編集課 総務課
4月
(月1回発行)

報 大洲

2月末市の人口

人口	41,956
男	20,102
女	21,854
世帯数	9,931
面積	240.93平方キロメートル

必 引越されたときは
ず 住民登録と
国民年金の
手続きを

農林業に積極策

三月市議会 諸懸案は補正で

四十年度の予算を審議する大洲市議会定例会は、三月十九日から開かれ、一般、国保特別両会計、国民健康保険税例を二部修正可決、職員の手当の特例条例の一部改正、職員の定数条例の一部改正を審議したほか、重要な議案三十七件をいずれも原案より可決しました。

村上市長(写真)は、十九日の本会議で四十年度予算案を附議するにあたり施政方針を明らかにしました。ここに要旨をかねてみなさんの参考供にします。



(議会で答辯する村上市長)

40年度 一般会計 予算・5億2300万円

市政を前向きな姿に

本市は合併後早くも十年の星霜を送り、当初計画された建設はほぼ完成したといえ、時代の推移は、急激な科学の進歩に加えて、高度経済成長による悪循環は少一、次産業を主体とする田園都市に及ぼす影響も大きく所得の格差は逐年増大の傾向を辿り、一方人口動態においても、生産人口の大半は大都市周辺に吸収され、農業に従事する後継者の問題も起り、農業経営の状態は今後必ずしも楽観を許さない情勢下にあると存じます。

かかる経済の動きに支配されながら、地理的条件に恵まれない本市は、財政的あるいは行政運営の上においても極めて困難なものがあると存じます。

而して私は今回の選挙にあたり市民の皆さんに公約いたしました三つの信条と六つの政策は、これを誠実に推進し市政全般が前向きな姿をもつて進展するようご自身の努力を払う決意を新たにすることを期します。市民の皆さん、何卒御支援と御協力をたまわりますようお願い申し上げます。

骨格予算 前年度の踏襲

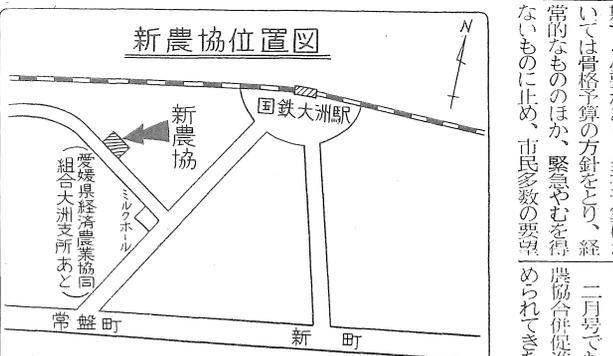
昭和四十年度予算は、私が就任いたしました最初の編成でございまして、御承知のように、日浅く重要な施策については、慎重を期する必要がある、当初予算においては骨格予算の方針をとり、経常的なものほか、緊急なものを得られないものため、市民多数の要請を二月号でもお知らせしたように、農協合併促進協議会において、この規模も異下届指の大型農協になりまして、この強大な組織をもつた新農協のもとに、全組合員が団結していつそう立派な農協となるよう格別の協力をお願いするのと同時に、新農協の発展を心から祈念します。

新農協 1室4部制で発足

その規模も異下届指の大型農協になりまして、この強大な組織をもつた新農協のもとに、全組合員が団結していつそう立派な農協となるよう格別の協力をお願いするのと同時に、新農協の発展を心から祈念します。

新農協 1室4部制で発足

指導 部長 二宮 義邦
次長 片岡 勝彦
金融 部長 安岡 忠雄
次長 上田 喜六
経済 部長 畑川 伝
次長 水成 春好
大洲支所長 西田満太郎
喜多支所長 三瀬 通吉
平野支所長 藤岡 春雄
菅田支所長 富永 繁夫
大川支所長 上田 和雄
蔵山支所長 大門 常勝
柳沢支所長 山本 松衛
新谷支所長 藤岡 芳徳
三善支所長 上田 利男
粟津支所長 祖母井聡平
上須波支所長 上川 好邦



新農協は、正組合員五千七百六十八人、出資額三千三百五十二万円、貯蓄総額十二億八千六百九十二万円をもつマンモス農協です。

事務所大洲市中村二〇九番地
電話 大洲局 三二七番
三二八番

◎新組合長体制 (敬称略)
組合長理事 丸井清治郎
専務理事 湯原寿雄
総企画室長祖母井聡平
部長 山本 見
次長 岩城 守

このほど諸懸案の準備が整い、さる四月一日に市内十一の農協が合併、大洲市農業協同組合として新しく発足しました。

◎事務所大洲市中村二〇九番地
電話 大洲局 三二七番
三二八番

九十二万七千円を計上いたしましたし、計上いたしましたのであります。

重点 大眾運動に

本市は、さきに健康都市を宣言し、市民の健康増進と環境衛生にたいする関心は強いものがあり、今年には特に大衆運動にその重点を活動の中心に推し進めたいと考えております。すなわち、児童福祉・母子福祉・老人福祉・生活保護の充実など重点的に努力を払う覚悟であります。更に防犯灯の設置、特に保育所の機構改革と施設の改善を図る所存であり、これら所要計費一億四千四百九十九万二千円を計上いたしました。

近代化推進

本市は、さきに健康都市を宣言し、市民の健康増進と環境衛生にたいする関心は強いものがあり、今年には特に大衆運動にその重点を活動の中心に推し進めたいと考えております。すなわち、児童福祉・母子福祉・老人福祉・生活保護の充実など重点的に努力を払う覚悟であります。更に防犯灯の設置、特に保育所の機構改革と施設の改善を図る所存であり、これら所要計費一億四千四百九十九万二千円を計上いたしました。

武陵鉱泉を 導入

本市の地理的条件から考えますと、天然水による大浴場の誘致には条件の伴わない困難な事情が多くあり過ぎると思っております。また、地元労働力、とくに婦女子による潜在的労働力の消化を併せ配慮される中小規模工場の誘致にも努力し、その促進を図りたいと思っております。そのために、過去に執行された条件の供与は、有休施設の供与など積極的協力を与えたいと存じます。

次に観光開発につきましては、今年度取敢えず武陵鉱泉の導入を施行し、併せて国民宿舎の建設をいたす方針であります。もちろん運営面には充分な検討を重ね、財源については、補助起債に求めよう目下確保と努力中であります。見透しは明かす予算は補正予算に追加措置したいと存じます。その他新たに計画されるもの、施設の整備充実を要するものなど

ありまして、今後農産指導に流通については、調査検討のうえ、機構の整備に農業者金調達にあるいは講習事業に面的活動が開始されることを信ずるものであり、市いたした。市においその育成発展に努力を惜しまないつもりであります。

更に、地域開発による農林道の建設、経営の共同化事業、機械化農業の促進、果樹畜産の振興助成費、農業近代化をいそう推進するためのブルドーザー購入、調査費などを含めた三千六百七十七万六千円を計上したのであります。

維持、改良費 (土木費)
当初予算においては、経常的経費のみ計上した次であり、主要なものは、市道の維持費、道路の新設改良費、橋梁維持修繕費、これ等の改良費、その他併せて二千二百四十七万七千円を計上、新たに計画いたします。県道道路改修工事費、舗装工事、一番池埋立工事などについては追加措置により御協力願う次第であります。

常設消防署

(消防費)
四十三年三月末をもって市消防署を開設することとなつたのであります。もとより消防力の強化は、市民の生命財産の安全保持に連なるものであり、倍加される市消防力の俸力が必要と市民の期待に応ずるべく、本年より年次計画を樹立するとともに、全く放任された状態に置かれていた消防署を、はじめて諸施設の補修、保持にも必要措置を講じてゆかねばならないと存じます。取敢えず当初予算におきましては、北中アールの建設、雪害修繕工事及び教育器材の整備、備品購入など主要なものとして九千二百八十六万四千円を計上いたしましたのであります。

以上が主たる施策の概要であり、以上が主たる施策の概要であります。

豊かな生活を築く
簡易保険新加入運動
昭和40年4月～6月

歳入
ます、市税については、地方税法の改正に伴ない市民税に大市の減税を行なうことといたしました。すなわち、一億一千二百七十七万三千円でありまして、前年度当初予算に比し、約一千万円の減税となつたのであります。

(二面へつづく)

歳入歳出予算 (一般会計)

歳	入		出	
	金額(千円)	構成比	金額(千円)	構成比
1	122,373	23.37	16,572	3.2
2	192,264	37.2	86,509	16.5
3	11,151	2.1	144,917	27.7
4	15,622	3.0	24,492	4.7
5	78,986	15.0	14,082	2.7
6	20,108	3.9	36,176	6.9
7	7,523	1.4	5,340	1.0
8	3,632	0.7	22,147	4.2
9	0	0.0	21,627	4.1
10	0	0.0	92,864	17.8
11	38,338	7.4	30	0.0
12	33,000	6.3	27,954	5.3
計	523,000	100.0	27,200	5.2
			3,090	0.6
			523,000	100.0

え得るものと確信し、磨きださないところであり、これが新設に伴なう整備費一千五百七十七万七千円を計上、一応の整備を完了させることとしたのであります。

施設の整備

(教育費)
教育の重要性について今更申し上げるまでもありません。殊に「入つくり」については、種々論議され求めているときはありません。入つくりのむづかしさ、入つくりの要否については、種々論議されることではあります。学校施設の整備も大きな要素であり、市の責任においてその充実を図らねばならないと思つております。過去数年に亘つて校舎及び附属校舎の建設が継続され、一応整備を脱した感がありますが、本市の特殊性とも云々べき学校数の多い中にあつては、年々老朽化の現象を訴えてまいるのであります。これに對する方策は、本年度より年次計画を樹立するとともに、全く放任された状態に置かれていた校舎をはじめ諸施設の補修、保持にも必要措置を講じてゆかねばならないと存じます。取敢えず当初予算におきましては、北中アールの建設、雪害修繕工事及び教育器材の整備、備品購入など主要なものとして九千二百八十六万四千円を計上いたしましたのであります。

以上が主たる施策の概要であり、以上が主たる施策の概要であります。

